関田 誠大

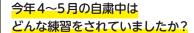
(せきた・まさひろ)

1993年東京都生まれ。ポ<mark>ジションはセッター、背番号 11。</mark> 日本代表での背番号は12。スパイカーとの相性の良さや 相手の意表を突くトス<mark>ワークが光る。</mark>

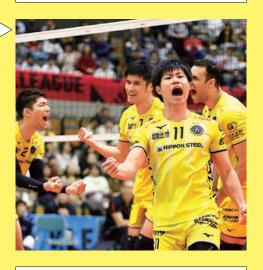


日本代表に選ばれたときの気持ちを 教えてください。

子どものころはテレビのなかの人た ちでした。でもバレーボールを続けて いくうちに夢がどんどん近づいていき、 実際代表に選ばれたときはうれしかっ たですね。子どもたちに夢や感動を与 えられるようなプレーを見せたい。そ して前の世代の人たちが残してきた成 績や活躍を上回るプレーで、僕たちが 歴史をつくっていきたいと思っています。



コンディションを落とさないことに 重点を置いて、堺ブレイザーズや日本 代表のコーチからもらったメニューを こなしていました。試合状況に応じた 最高のトスを上げられるように、家の なかでも直上パスを1日1,000回繰り 返していました。



オリンピックに向けて 抱負をお聞かせください。

先のことを考えると不安になること もありますが、今できることを全力で やることが大事だと思っています。出 場するチャンスをもらえていることを 自覚して、いかにこの時期に成長でき るかを考えて、これからもトレーニン グに励みます。

日本はチームの組織力が大きな武器 です。セッターは試合中に一番ボール を触るポジションなので、コートでは 常にアタッカーやリベロと声をかけ合っ ています。さらに監督やスタッフとも コミュニケーションを深めて、組織力 アップに貢献していきたいですね。

NIPPON STEE

山本 智大

(やまもと・ともひろ)

1994年北海道生まれ。 ポジションはリベロ、 背番号 20。 日本代表での背番号は18。リーダーシップを発揮し、チーム に安定をもたらす。

日本代表に選ばれたときの気持ちを 教えてください。

日本代表は小さいころからの憧れで した。代表入りしてオリンピックへの想 いはますます強くなりました。ホームで のオリンピックは一生に一度しかありま せん。ぜひメダルを獲りたいですね。



オリンピックに向けて 抱負をお聞かせください。

リベロは選手層が一番厚いポジショ ンです。他の選手が持っていないもの を武器としてやっていかなければ、メ ンバー入りはできません。自分の武器 はディグ(スパイクレシーブ)です。世 界のスパイクは強くて速いので、確実 にたくさんボールを拾って、チームに 貢献したいと思っています。自分の持っ ている力を出し切りたいですね。

オリンピックは1年延期となりました が、目指すところは変わりません。軸 をぶらさず、ネガティブに思うのでは なく、まだ1年成長できる時間がある とポジティブに考えて、今年より来年 良いプレーができるように日々成長し ていきたいと思います。



今年4~5月の自粛中は どんな練習をされていましたか?

自分でトレーニングを続けていました。 例えばランニングは1時間ゆっくり走る こともあれば、坂道ダッシュ15本とか、 その日によって内容を変えていました。 マスクをして走っていたので、とても キツかったです。





BLAZERS SAKAI WAKAYAMA KITAKYUSHU

日本代表選手としての想いを語っていただいた

多くの日本代表選手が在籍している。

大阪府堺市に本拠地を置く

そのう

の関田誠大選手と、守りの要とな